

平成18年度特別交付税について

1 全国の状況

平成18年度の特別交付税の全国総額は、9,545億39百万円で、前年度に比べ、595億9百万円(5.9%)の減少となっている。

本年度交付額のうち、道府県分は1,249億37百万円(対前年度比12.3%減)、市町村分は8,296億2百万円(対前年度比4.8%減)となっており、市町村分のうち、市分は6,101億85百万円(対前年度比5.3%減)、町村分は2,194億18百万円(対前年度比3.5%減)となっている。

2 本県の状況

県分及び市町村分を合わせた本県総額は、242億94百万円で、前年度に比べ、1,856百万円(7.1%)の減少となっている。

なお、本年度の配分額は、前年度に引き続き、東北6県では最高額となっている。

(1) 県分

本県に対する配分額は、33億15百万円で、8億42百万円(20.3%)の減少となっている。これは、少雪による除排雪経費の減の影響等が考えられる。

(2) 市町村分

本県市町村に対する配分額は、209億79百万円で、前年度に比べ、10億13百万円(4.6%)の減少となっている。このうち、市分は、127億72百万円で、前年度に比べ、458百万円(3.5%)の減少、町村分は、82億7百万円で、前年度に比べ、555百万円(6.3%)の減少となっている。これは、少雪による除排雪経費の減や市町村合併に関する経費の減の影響等が考えられる。